

LTEに対応したOBD IIテレマティクスデータ端末を販売開始  
国内の自動車及びトラック 1600 車種（型式・年式含む）以上に対応

株式会社ネクス（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：大内 英史、以下、「ネクス」）は、OBD II（※1）インターフェースに対応したテレマティクス（※2）データ通信端末「GX700NC」を開発し、販売を開始いたします。

本製品は、「GX410NC」の後継機種として開発し、国内の主なLTE周波数であるNTT docomo/ KDDI/ SoftBankのLTE周波数（800MHz、900MHz、1800MHz、2100MHz）に対応（※3）しており、回線の選択肢が広がりました。GNSS（※4）機能においては、GPS, Glonass, Galileo, BeiDou, QZSSの5方式に対応し、より多くの衛星測位システムを使うことで、ビルや樹木などで視界が狭くなる都市部や山間部でも、測位の安定性が向上しました。SSL/TLSの機能においては、これまで非対応であった、SNI（※5）に対応し、ホスト名によって異なる証明書を使い分けることが可能となりました。そのほか、カスタマイズ対応でUSB接続による外部デバイスとの連携が可能となります。

本製品は、自動車に搭載されているOBD II端子に接続する事で、今後ますます活発化するテレマティクス分野のビッグデータ収集をおこなうことができます。

ビジネスシーンにおける具体的な使用例としては、急ブレーキや急発進の頻度などの走行情報を収集・分析・評価することで、ドライバーと車両の運転特性に基づいて保険料を算出するテレマティクス保険（※6）のようなデータ分析型ビジネスや、危険運転を行った際には注意喚起する事でエコドライブを推進するなど自動車の運行管理・動態管理を利用した様々なサービスで活用することができます。

また、本製品は対応する車種と取得できるデータ数は業界最高レベル（※7）となり、非常に高い汎用性を備えています。ネクスは本製品を、運送業、レンタカー、その他業務用車両を直接保有する法人や、システム開発会社や電装機器メーカー等の自動車向けのソリューションを提供する法人や、ガソリンスタンド、アフターパーツ販売店などのエンドユーザー向けにサービスを提供する法人などの、幅広い市場に対して販売を進めてまいります。

【販売開始時期】

2020年8月



GX700NC（OBD II データ通信端末）

■本製品の特長

- 国内通信キャリアの主要な周波数をサポート (Band 1/3/5/8/18/19) (※3)
- LTE Cat. 4 (下り 150Mbps, 上り 50Mbps) (※8)
- 3軸加速度センサ、GNSS 機能搭載 (GPS, Glonass, Galileo, BeiDou, QZSS)
- 端末 ID (IMEI) と車両情報をサーバに登録し、OBD II 端子に接続するだけの簡単アクティベーション
- OBD II 規格のデータ以外に、独自の解析による積算距離、積算燃料、バッテリー電圧、瞬間燃費データの取得を実現
- 基本項目データ 10 種類に加え、オプションとして 28 種類の車両情報を取得可能
- 国内 1600 車種\*<sup>1</sup> (年式・型式別含む) 以上に対応し、エアダウンロードにより対応車種を順次拡大\*<sup>2</sup>

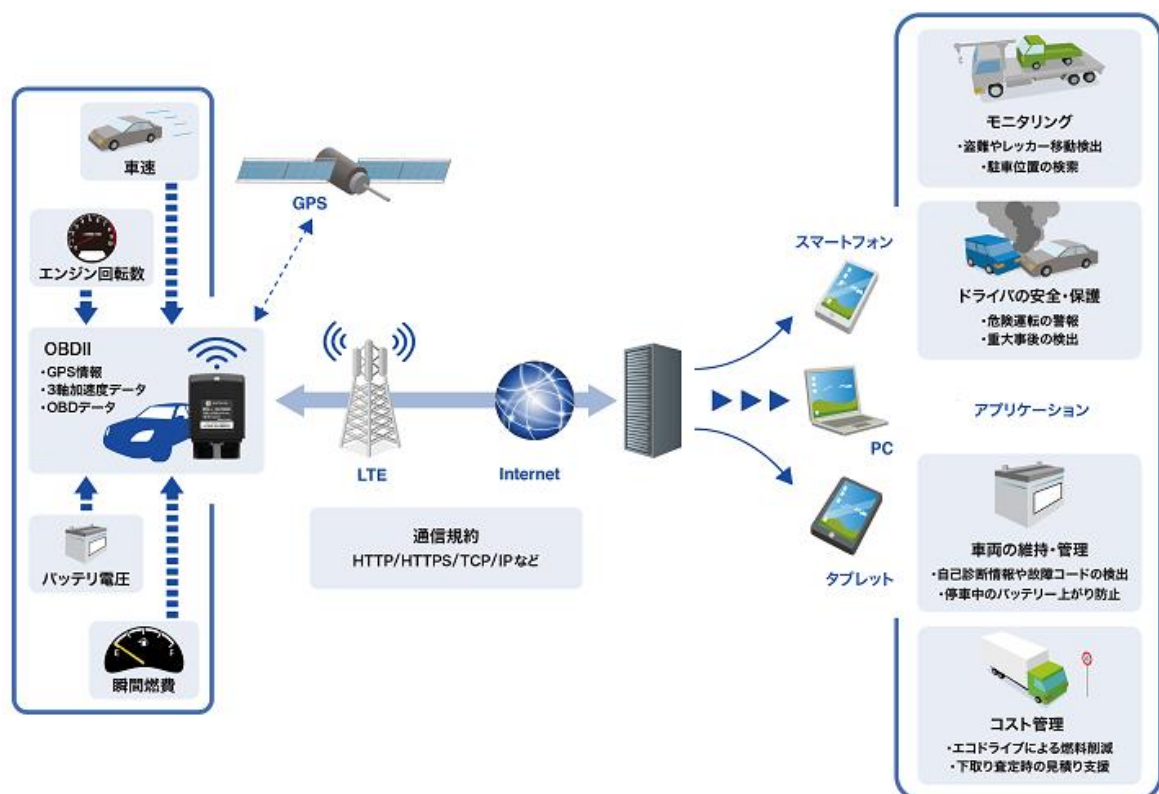
基本項目			オプション項目		
瞬間燃費	積算距離	A/C スイッチ	ワイパ	エアコン温度設定 3 (後部座席側)	ドア状態 (開閉)
燃料噴射量	積算燃料	ヘッドライトスイッチ	燃料噴射量	エアコン FAN風量 1 (運転席側)	シートベルト
車速	バッテリー電圧	ハンドル操舵角	オドメータ値	エアコン FAN風量 2 (助手席側)	ABS 状態
エンジン回転数	加速度センサ	シフトポジション	SOC (電池残量)	エアコン FAN風量 3 (後部座席側)	外気温度
エンジン冷却水温	GPS	シフトモード	エアコン温度設定 1 (運転席側)	外気/内気	モーター温度
アクセル開度(* <sup>3</sup> )	ブレーキスイッチ(* <sup>3</sup> )	ウインカ	エアコン温度設定 2 (助手席側)	ドアロック状態	瞬間電費

\*1 基本項目での対応車種です。

\*2 定期更新の提供には、別途保守の契約が必要となります。

\*3 車種によってデータが取得できない場合があります。

■利用イメージ



## ■主な仕様

通信方式	FD LTE-Category 4
周波数	Band 1/3/5/8/18/19(800MHz/900MHz/1800MHz/2100MHz)
センサ	3軸加速度センサ
GNSS	GNSS(GPS, Glonass, Galileo, BeiDou, QZSS)
アンテナ	内蔵アンテナ (LTE×2, GPS×1)
インターフェース	OBD II CAN : ISO 11898 準拠 K-Line : ISO 9141 準拠 USB2.0 : micro USB (①メンテナンス、②USB ホスト機能※オプション)
SIM	micro SIM (3FF)
表示・ボタン	2色LED×1 (電源状態、圏外、圏内、OBD 通信確立、エラー)、機能ボタン×1
筐体サイズ	75×50×25mm 以下 (突起物除く)
動作温度範囲	-10～+55℃
アクセサリ	OBD 延長ケーブル、ケーブル固定用テープ、取扱説明書 端末固定用両面テープ、端末落下防止用ストラップ

## 【株式会社ネクス】

代表取締役社長 大内 英史

花巻本社：岩手県花巻市柵ノ目第2地割 32 番地 1

東京本社：東京都港区南青山 5-13-3 南青山 KDX ビル 3F

各種無線方式を適用した通信機器の開発、販売

上記にかかわるシステムソリューション提供及び保守サービス

- ※1：OBD II (On-board diagnostics) とは、自動車に搭載されるコンピュータ (ECU) が行う自己故障診断のこと。一般に OBD が故障診断した場合は、故障の箇所や内容をランプの点灯や明滅あるいはブザー音などの鳴動でドライバーに伝え、その内容に応じたコードを記録する。専用端末あるいは汎用ソフトウェアを用いて記録されたコードを得ることで、その内容を解析できる為、様々な用途での活用が今後見込まれています。
- ※2：テレマティクス (Telematics) とは、テレコミュニケーション (Telecommunication=通信) とインフォマティクス (Informatics=情報工学) から作られた造語で、移動体に携帯電話などの移動体通信システムを利用してサービスを提供することの総称です。
- ※3：各通信事業者が提供している SIM カードの種別によって利用できない可能性があります。
- ※4：GNSS(Global Navigation Satellite System / 全球測位衛星システム)は、GPS、GLONASS、Galileo、準天頂衛星 (QZSS) 等の衛星測位システムの総称です。
- ※5：SNI (Server Name Indication、サーバ名表示) とは、SSL/TLS の拡張仕様の一つで、SSL ハンドシェイク時にクライアントがアクセスしたいホスト名を伝えることで、サーバ側がグローバル IP ごとではなくホスト名によって異なる証明書を使い分けることを可能にします。
- ※6：テレマティクス保険とはテレマティクス技術を使った自動車保険。個別の運転情報をもとに保険料を決めるのが特徴です。自動車に設置した端末から走行距離や運転速度、急発進や急ブレーキの回数等の情報を集め、事故のリスクを割り出して保険料を算定します。
- ※7：OBD II データ型式対応数、データ取得数の広報発表時点。ネクス調べ
- ※8：通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ネクス

営業部 TEL : 03-5766-9872

Mail: sales@ncxx.co.jp